

# 研究推進機構

研究推進機構は、本学における研究者の個々の基礎研究から実用化研究まで研究活動の効果的かつ創造的な実施のための研究環境の機能強化を推進し、本学の研究力の一層の向上を図るとともに、研究成果を社会に還元することを目的として、平成30年4月1日に設置されました。

現在、5部門で構成されており、上記目的を達成するため、以下の業務を行います。

- 本学の学術研究に係る調査分析及び中長期の研究戦略の企画立案並びに研究基盤設備の整備に関すること。
- 独創的研究、萌芽的基盤研究及び学内組織間連携の融合研究による研究シーズ育成並びに研究プロジェクトの推進に関すること。
- 外部研究資金獲得に係る調査、企画立案、学内外調査及び申請支援に関すること。
- 産官学連携の推進及び知的財産の創出・取得・活用等に関すること。
- 研究機器の全学共同利用及び研究活動における安全管理に関すること。
- 実験分析技術の教育研修及び技術提供並びに分析解析依頼に関すること。
- 未利用生物資源の研究・開発、未利用生物資源研究体制の組織化及び未利用生物資源の社会実装に関すること。

## 研究推進機構 機構長 (研究担当理事)

### 研究戦略本部

本学の特色ある、強みの研究シーズの育成を目指した研究戦略の策定や、競争的研究資金の申請支援といった研究実施のための支援機能強化のほか、全学共通実験・分析機器の維持管理及び安全教育研修を行います。

また、学内の実装化可能な研究シーズの高度化とその社会実装化を目的に産学連携研究をプロデュースし、併せて知財資源の取得・維持管理を行います。

### サステナブル・サイエンス研究センター

鳥取・浜坂地区における独創的研究、萌芽的基盤研究を育む融合研究プラットフォームです。先進インフラマネジメント、宇宙イノベーションシステム、バイオ・フード・オーガニック、グリーンケミストリー・エネルギー、次世代社会実装探索の各部門を有し、学内組織間連携によるシーズの育成と戦略的な研究プロジェクトの推進によって、研究シーズが核となり、社会との関わりも意識し先端的な共同研究へ発展していくことを目指しています。

### 先進医療研究センター

“人々の健康福祉と医療の未来に貢献する”ことを使命とし、学内の技術を集結して、医療技術シーズ発掘、橋渡し研究、臨床研究から実用化までの研究開発をシームレスに支援する研究マネジメントを行っています。

### 研究基盤センター

本学の生命科学、環境科学、物質科学等の実験・分析において質の高い研究環境を支えるために、研究設備機器の維持管理から専門的技術による分析支援を実施するとともに、平成27年9月より発足した「とっとりイノベーションファシリティネットワーク」を通じて、本学のみならず鳥取県内の教育研究機関における安全管理指導・技術研修等を実施しています。

### 未利用生物資源活用研究センター

学内の天然未利用生物資源(地域の魚介類の廃棄部位や食に適さない海藻などの生物資源)を材料とした研究実績と技術を融合し、天然未利用生物資源を活用する研究・開発に特化した産学官横断型組織です。潜在的な地域のニーズやシーズの発掘、社会実装を念頭に置いた研究の実施、実体験を伴う学生への啓蒙教育活動を推進します。



# とっとりNEXTイノベーションイニシアティブ

とっとりNEXTイノベーションイニシアティブは、本学における民間等外部機関との組織対組織による協創連携の推進を図ることにより、社会実装につながる研究成果の創出を促進することを目的とし、令和5年4月1日に設置されました。

現在、3部門で構成されており、上記目的を達成するため、以下の業務を行います。

- 組織的産学協創連携に係る企画・立案に関すること。
- 組織的産学協創連携に係るプロジェクトの運営に関すること。

## とっとりNEXTイノベーション イニシアティブ長 (研究担当理事)

### サステナブル協創戦略本部

### 組織的産学連携推進室

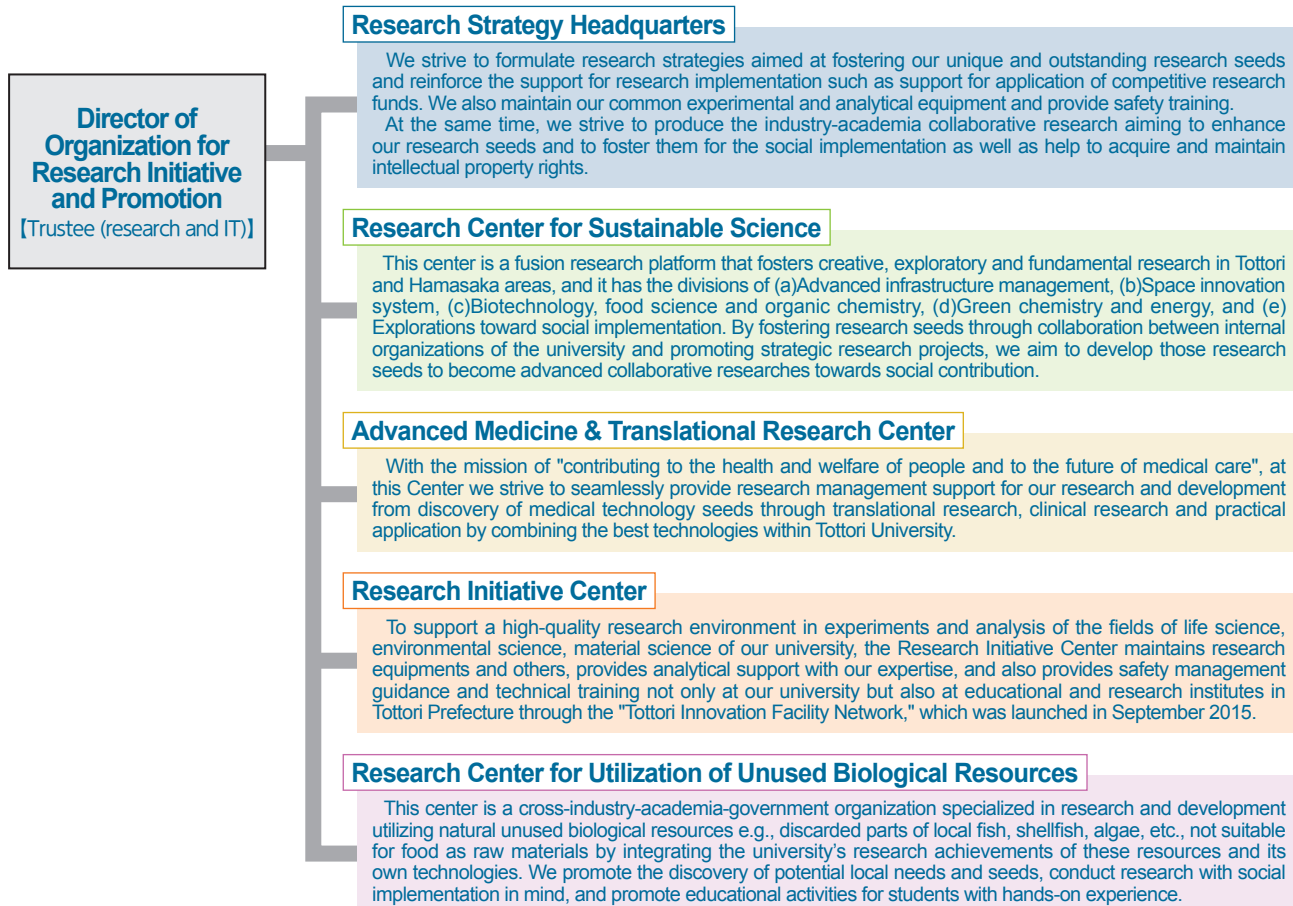
### サステナブル先端プロジェクト推進室

## Organization for Research Initiative and Promotion (ORIP)

Organization for Research Initiative and Promotion, established on the 1st of April 2018, aims to further improve the research capabilities of our university by strengthening the functions of the research environment for the effective and creative execution of individual research activities from basic research to practical application research conducted by researchers at Tottori University, and at the same time to return the benefit of research results to society.

Currently, it is composed of 5 departments, and in order to achieve the above objectives, we will carry out the following tasks.

- Operations related to the investigations and analyses concerning academic research in our university, planning and designing of the medium & long-term research strategies as well as the implementation of research facilities.
- Operations related to developing the research seeds of original research, exploratory basic research, and fusion research implemented by intra-college collaboration as well as the promotion of research projects.
- Operations related to the investigation, planning, internal and external surveys, and support related to obtaining external research funds.
- Operations related to the promotion of research alliance among industry, government, and academia, the creation of the intellectual property as well as acquisition and utilization of intellectual property rights.
- Operations related to the utilization of university-wide shared research equipment and the safety management in the research activities.
- Operations related to the education and training of experimental analysis techniques, technology services, and analysis request.
- Research and development of unused biological resources, organization of their research system, and their social implementation.



## Tottori NEXT Innovation Initiative

Tottori NEXT Innovation Initiative (TNII) was established on April 1, 2023 to promote the creation of research results that will lead to social implementation through the promotion of organization-to-organization collaboration.

In order to achieve the above objectives, it is composed of three offices and we will work to following tasks.

- Planning and drafting related to the industry-academia collaborations.
- Management of projects related to the industry-academia collaborations,

